

演劇『泥かぶら』公演用資料

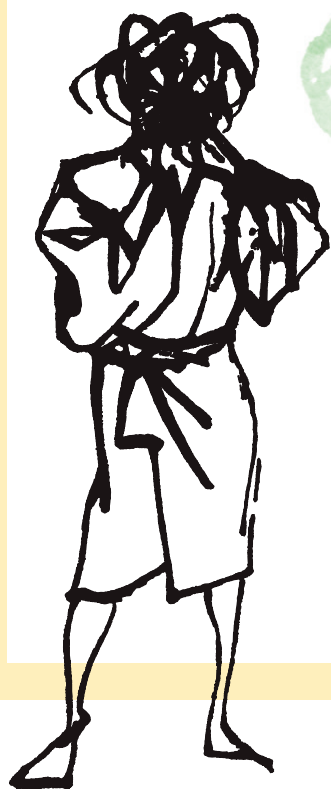
〈中学校・高等学校用〉

文部大臣奨励賞受賞作品

泥かぶら

真山美保 作・演出

プロローグと3幕7場



人間は決して自分を見捨ててはいない、愛情を捨ててはいない、
苦しみをのりこす力を失ってはいないと思うのです。

その後、私はたくさんの作品を書きましたが、
『泥かぶら』は人間の願いがもっとも率直に書かれていると思っています。
この作品の調は、愛することの喜びと信じることの静かさでしょう。

私たちは、武器と権力を持たない詩人の群れです。
しかし、この笛の調は、人間に襲いかかる試練に対して、
何にもまして強い力を持っていると信じています。

『泥かぶら』の作者 眞山美保（1971年ブラジル公演開幕の挨拶より抜粋）



◆『泥かぶら』

1. 会場：劇場・講堂・体育館
2. (A) 上演時間：2時間10分（休憩2回5分・7分を含む）
(B) 上演時間：1時間40分（休憩1回）
※ 1幕2場をカット、ナレーションで繋がります。
上演時間に制限がある場合にご提案させていただきます。
3. 上演料：90万円～180万円（会場費・消費税別）
※ 新制作座は東京都八王子の本部から、北海道～九州まで全国巡演しております。
移動距離・単独公演 or 連続するコース巡演などの条件によって上演料が異なります。お見積もりいたします、お気軽にお声がけください。
4. 問い合わせ 電話：042-661-0001
eメール：info@shinseisakuza.com
制作担当：小津和・木村・仁科・亀川

◆上演までの流れ

- ① 公演日程について、劇団の公演スケジュールの実施可能日とご相談させていただきます。
公演日が既にお決まりでしたら早めにお知らせください。
- ② 上演料の見積もりと企画書を郵送又はメールさせていただきます。
制作の担当者にご連絡を差し上げた後ご挨拶に参ります。
会場の下見、打ち合わせ、消防への禁止行為の解除申請（3幕：焚火の場の裸火）は、劇団のスタッフで行います。会場の仮予約・抽選の参加など、劇団側で行うことも可能です。
上演が決定した後に契約書を交わします。
芸術鑑賞会当日の流れについて、2週間前までにオンライン又はメールにて打ち合わせを致します。
会場との打ち合わせは公演日の2ヶ月前までに、舞台監督が会場スタッフと直接又は、電話で行います。
公演当日、開演の30分ほど前に5分程度の簡単な調整・確認を行い、開演となります。

◆ 公演当日の流れ

- ① 劇場入り（当日又は前日）仕込み開始から本番までの所要時間約 4 時間 30 分～5 時間。
- ② 開演 30 分前に開場、（開演前のご挨拶があれば緞帳幕の前、下手にマイクをご用意します）
- ③ 開演 5 分前 1 ベル。
- ④ 観劇のための諸注意をアナウンス。
- ⑤ 本ベル・開演となります。

終演後舞台上で出演の生徒さんと記念撮影、記念の品の贈呈を行います。

搬出は、90 分前後かかります。

◆ 演劇体験 ― 生徒さんとの共演 ―（出演を希望される学校のみ）

『泥かぶら』の第 2 幕に登場する村の子ども役→（女子生徒 2 名～3 名：身長 150 cm 未満が望ましい）：本番の舞台上で劇団員と共演する演劇体験を行っています。前日仕込みの場合は、仕込み途中の舞台の基本形が出来た段階で舞台稽古、その後に髪・衣装合わせを行います。当日仕込み本番の場合は、開演の 2 時間前に楽屋入り、急ぎ舞台稽古、本番となります。事前の出張稽古も可能です。

共演の記念に記念品と記念写真を差し上げます。

台本と DVD を事前に（本番 3 週間前）郵送いたします。

◆ 職場体験 ― 裏方の仕事 ―（出演を希望される学校のみ）

トラックの荷下ろし・舞台設営・開演前の諸注意のアナウンス・終演後の道具の撤収など、公演の舞台裏を体験していただきます。



共演：村の子ども達



体育館公演の仕込み

◆ 上演料の支払いについて

公演終了後、請求書をお送りします。到着後 2 週間以内に指定の口座にお振込ください。

さて、お客様、私は旅人。訳もなく年寄りになりました愚かな旅人。私は村から村へ、町から町へ、何十年もさまよい歩いて、さまざまな思いを致した者じやが、この年月、私の胸には沢山の物語がたまりましてござりまする。

そこで、あちこちの辻に立ちまして、可愛らしいお子供衆に、赤児を抱いたお母様方に、さては通りすがりの方々にこの物語をお伝えしようと、今日も此処に立ちましてござりまする。

さて、悲しい話も美しい話も数々ござりまするが、今日は一つ「泥かぶら」のお話を致しましょう。

皆様は、顔の美しいということをどうお考えじやろう。この眼、鼻、口が形よく散らばっているのを、美しい顔と申されましようかのう。そう、見てもまことに気持のよいほど、形の整った美しい顔に時折ゆきあたるものなのですのう。お、美しい、お、綺麗じやと皆々感服いたします。美しい花に見とれるように――。

けれど人には心と申すものがあります。あ、美しいと思う人の心が、花の無心とは似ても似つかぬ恐ろしい心であったなら、皆様はどうなされます。これほど淋しく、悲しいことはござりませぬなあ。

この物語は、ふた目と見られぬみにくい顔をしているために、泥かぶらと仇名をつけられた子供のお話でござりまする。もとより、私は学問もなくむづかしいことは語れませぬ。皆様にお教える力も持ち合わせませぬ。

その上、話は遠い遠い、何時の頃かとも、しかとわからぬ昔むかしのお伽話じや。たあいなと思召されようも知れぬのじやが、それでも、私は語らずにはおられませぬのじや。どのように人の頭が進みましようとも、まことの美しさを見落とされる人々があまりにも多い故に、老いの喉を張りあげても語らずにはおられませぬのじや。

お子供衆は友達と仲良く、おとなしく聞いてくだされ。大人の方々は、遠い幼い日におかえりくだされ。竹馬に乗り、柿の木に登り、手毬歌をうたった子供の日におかえりくだされ。ほら、私が絵本の一枚をめくりまします。

プロローグ 老爺の台詞より



ものがたり

昔、顔の大変みにくい少女がいました。あまりのみにくさに人々の嘲笑のまとなり、石を投げられたり、つばを吐きかけられたりしました。少女の心は日一日とすさみ、粗野で乱暴な子になっていきました。今日も、わけもなく石つぶてを浴びせかけられ、嘲られた口惜しさで荒れ狂っています。そこへ旅の老爺が通りかかり「きれいになりたい！」と慟哭する。泥かぶらに、美しくなる方法を教えてくださいました。

自分の顔を恥じないこと。

どんな時にも、にっこりと笑うこと。

人の身になって思うこと。

この三つのことさえ守れば、村一番の美人になれると言うのです。少女の心は激しく揺れ動きました。しかし、美しくなりたいたいという心の方が勝ちました。それからの少女は、何度も負けそうになりながら立ち上がり耐え抜き、ある日初めての友達ができました。働く喜びの中に自分の価値を発見した時、自ら重い劣等感を吹き飛ばしたのです。少女の心はおだやかになり、憎しみが消え、明るくひょうきんな少女に成長しました。村人たちの使い走り、赤児のお守りが日課になりました。

そうした或る日、村の少女が、人買いに連れ去られそうになる所を目撃しました。彼女は喜んで身代わりになり、人買いに連れられて村を出ていきました。人買いは兇悪な心を持つ男でした。



彼女は道々一人で明るく笑い語りました。自分が何よりも愛している村の赤児のことなどを……。自分が売られてゆく道を嬉々と歩いて行きました。人買いの心は次第に苦しくなり、とうとう彼女の心に負けました。彼は胸が暖かくなってきたのです。生きる喜びを吹きこまれたのです。彼は書き置きを残して、もう一度人生をやり直そうと立ち去って行きます。

「ありがとうよ。仏のように美しい子」

少女は、冴えわたる月の光をあびて、輝いたのでした。

観客からの声

泥かぶらの感動

戸板康二（作家・評論家）

『泥かぶら』は、美しい作品である。こんなに人の心をやさしいものにし、どういう人間にも生きる喜びがあるということをしみじみ思わせてくれる名作は、あるまい。

眞山美保さんは、戦後の荒廃した日本が、泥にまみれ、屈辱に顔をゆがめている時に、これを書いた。泥かぶらは、当時の日本だったと、いえなくもない。

しかし、いまの時点でも、いやむしる現代においてこそ『泥かぶら』は一層観客の気持ちに、切実に訴えるところもいえる。

醜く、すさんだ生活をしている少女が、いじめられる。西洋にもそんな事があるかも知れないが、かなしいけれど、日本の子供には、弱いもの、欠点のあるもの、動物などをいたわる性質がとぼしいような気がするのだ。教育の至らなさでもある。

社会問題になっている学校での「いじめ」の実状を思い、むかしの泥かぶらが、どんなにつらい日々を送迎したかと考えると、涙が出て来る。

しかし、この芝居で、みにくくても、その顔を恥じず、いつでもニコリ笑い、人のために尽くそうとすれば、その人間は、かならず美しくなるということをし、教えられる。

ぼくは客席にいて、久しぶりに、声をあげて泣きたいほどの感動を受けた。

こういうドラマを、全国の人々に見せるなら、どんないい教訓になるだろう。

演劇は、いわゆるお説教という形でなく、作品と演技者が舞台から、直接大切な、生涯忘れがたい、すばらしい真理を、与えてくれるものである。

『泥かぶら』は、そういう意味において、みんなに吹聴したい公演である。

戸板康二 といた・やすじ（一九二五～一九九三年）
演劇・歌舞伎評論家・作家



高校生から届いた手紙より

● 役者の言葉はまるで観客の腹の底へ落ちるかのよう染み渡る。同時に私たち観客の視線は舞台に注がれる。舞台から観客へ、また観客から舞台へと、そこには二つの力が動く。その力は、伝えようとする気持ちの鼓動と、受け取ろうとする強い関心から生じる。この舞台の脚本家眞山美保さんや新制作座の役者さんたちが創る舞台表現の面白さと、彼らの言わんとするメッセージを私たちが受け取ることの面白さ。それこそが演劇の魅力ではなからうか。心の中で思っても口になせなかつたり、他人の言葉に耳を傾けることができなかつたりすることが多々ある。自分の考えをいかに表現し伝えるかと言うことや、他人の言葉を懸命に聞くことが大切なのではなからうか。人と人とのつながりがうすれつつあると嘆かれる今日、私たちに必要なのは伝える力と受け取る力ではないかと、演劇鑑賞を通じて考えた。

中学生の感想より

● 僕も「泥かぶら」のように、常に笑顔で、誰にでも親切で、自分に恥じない生き方をして信頼され、どんな人の心も楽しい気持ちにさせてみたいです。

● 今まで見た目ばかりを気にしていたけれど、これからは自分の心と向き合って内面を磨いていこうと思いました。

● 前に僕は、人の悪口を言ってしまった。これからは人が悲しむ



ことは、絶対に言わないようにしようと思いました。

● 人の心は思い方次第で、ものすごく変わり、相手の心も大きく変えてしまうことがわかった。

● いやでも笑っている子がいるということがわかったので、気持ちを感じ取り、皆で楽しく学校生活をおくりたいと思いました。

● 感動して途中3回も泣いてしまいました。

● 彼女が知った本当の美しさとは、それは喜びだと思えます。働いて皆を助けて喜ばれて、私も「泥かぶら」のようになりたい。

● 人は見かけだけで判断してはいけないし、それぞれの良さを理解しないといけない。学校生活の日常によくあることだと僕は思います。

● どんなに辛くても折れずに立ち向かっていけば、自分もまわりも変わるんだということが伝わってきてとても感動しました。

● 私の未来の子ども達に語り続けていきたいな、と思いました。

● いじめにあっている人は、あんな思いで戦っているか、人知れず涙を流しているのかと思うと、胸にこみ上げてくるものも多く、この劇のおかげで人の内面を知ることが出来て良かったです。

● 顔を綺麗にしたがる人は沢山いるけれど、中身を綺麗にしようとしている人はそう多くないと思います。外見だけでなく内面まで見る事のできる「美しい人」になりたいと感じました。



『泥かぶら』上演実績

● 上演実績より（一部掲載）

宮城県

- ・仙台市立七郷中学校
- ・大崎市全中学校
- ・古川学園中等部
- ・仙台白百合女子中学高等学校
- ・宮城学院女子中学高等学校

茨城県

- ・行方市全中学校
- ・守谷市全中学校
- ・水戸女子高等学校
- ・霞ヶ浦高等学校
- ・土浦日大付属高等学校

栃木県

- ・佐野市全中学校
- ・足利市全中学校
- ・小山南高等学校
- ・矢板高等学校
- ・矢板東高等学校

群馬県

- ・みどり市全中学校
- ・四葉学園中等教育学校
- ・県立太田女子高等学校
- ・沼田高等学校

千葉県

- ・旭市全中学校
- ・東海大学附属浦安高等学校

神奈川県

- ・星槎中高等部北斗校
- ・横浜女子学院中学高等学校
- ・県立大師高等学校

東京都

- ・田園調布双葉学院中学校
- ・淑徳学園中学高等学校
- ・田園調布学園中学高等学校
- ・顕明館中学高等学校
- ・足立学園中学高等学校
- ・八雲学園中学高等学校
- ・八王子学園中学高等学校
- ・東京学園中学高等学校
- ・星槎国際八王子・立川学習センター
- ・立川女子高等学校
- ・大成高等学校
- ・東海大学附属菅生高等学校
- ・都立福生高等学校
- ・都立晴海総合高等学校
- ・都立八王子東高等学校
- ・都立白鷗高等学校
- ・東京純心女子中学高等学校

新潟県

- ・五泉市全中学校
- ・燕市内中学校5校
- ・魚沼市全中学校
- ・村上高等学校

福井県

- ・敦賀気比高等学校
- ・星槎国際福井学習センター
- ・啓新高等学校

山梨県

- ・韮崎東中学校

長野県

- ・箕輪町立箕輪中学

静岡県

- ・静岡英和女学院中学高等学校

愛知県

- ・星槎国際名古屋学習センター
- ・一宮市全中学校
- ・刈谷市全中学校
- ・岡崎市全中学校

大阪府

- ・上之宮太子中学高等学校
- ・大阪賢明女子学院中学高等学校

島根県

- ・出雲工業高等学校
- ・石見智翠館高等学校

広島県

- ・福山暁の星女子中学高等学校
- ・近畿大学附属東広島中学高等学校
- ・広島文教女子大学付属高等学校
- ・安佐北高等学校
- ・県立上下高等学校

山口県

- ・熊毛南高等学校

福岡県

- ・明治学園小中高等学校
- ・福岡誠和中学高等学校
- ・星槎国際福岡学習センター
- ・福岡市立城南小学校
- ・東福岡高等学校
- ・九州産業大学附属九州高等学校
- ・精華女子高等学校
- ・海星女子学院高等学校
- ・筑紫女学園中学高等学校
- ・筑陽学園中学高等学校

熊本県

- ・九州学院中学高等学校
- ・合志中学校
- ・八代白百合学園高等学校

● 行政

- ・北海道厚真町教育委員会
- ・福島県玉川村教育委員会
- ・群馬県みどり市教育委員会
- ・新潟県燕市教育委員会
- ・愛知県犬山市教育委員会
- ・滋賀県高月町
- ・広島県坂町教育委員会
- ・宮城県岩沼市教育委員会
- ・茨城県守谷市教育委員会
- ・千葉県旭市教育委員会
- ・愛知県一宮市教育委員会
- ・愛知県岡崎市教育委員会
- ・和歌山県広川町教育委員会
- ・宮城県大崎市教育委員会
- ・栃木県足利市教育委員会
- ・新潟県五泉市教育委員会
- ・愛知県豊田市教育委員会
- ・愛知県豊橋市教育委員会
- ・島根県美郷町教育委員会
- ・山形県尾花沢市教育委員会
- ・栃木県佐野市教育委員会
- ・新潟県魚沼市教育委員会
- ・愛知県刈谷市教育委員会
- ・三重県御浜町教育委員会
- ・島根県川本町教育委員会

● 各種団体

- ・岡山県NPO法人ゆめ21やかけ
- ・株式会社ビレッジ開発
- ・沼田利根ライオンズクラブ
- ・箱根町・星槎グループ
- ・慈愛園
- ・山形県尾花沢市「泥かぶら」を観る会
- ・立正佼成会神戸教会
- ・岡山県岡山市PTA協議会
- ・立正佼成会大阪普門館
- ・福岡県太宰府市図書館
- ・倉敷中央ライオンズクラブ
- ・NPO法人みんなの家ひだまり（新冠町）

● 文化庁

- ・2005年～2007年、2009年「本物の舞台芸術体験事業」
- ・2011年「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」
- ・2020年「次のない手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業」
- ・2021年「ARTS for the future!」

● チャリティー公演

宮城県（東日本大震災）

- ・七郷中学校
- ・南三陸町
- ・岩沼市

熊本県（熊本地震）

- ・益城中央小学校
- ・白坪小学校
- ・川尻小学校
- ・矢部小学校
- ・託麻東小学校
- ・龍田小学校
- ・南阿蘇当町中松小学校
- ・熊本かがやきの森支援学校

岡山県（西日本豪雨）

- ・陵南高等学校
- ・岡田小学校

岩手県

- ・大槌町

福島県

- ・郡山市（原発避難者の皆様ご招待）